

長期休みに起こりやすい SNS トラブルと保護者へのお願い

長期休み中は、スマートフォンや SNS の利用時間が増えることで、以下のようなトラブルが学生の間で起こりやすくなります。

【学生に起きやすい SNS トラブルの例】

1. LINE や Instagram での悪口や仲間はずれ
2. 写真の加工、性的な写真の撮影・送信・拡散
3. ネットで知り合った人と実際に会うことによる犯罪被害
4. SNS で知った違法行為（大麻の所持・使用、無許可の撮影や迷惑行為など）への関与

【保護者の皆さまへお願い】

- ・サポートはぜひお願いします。ただし、「参戦」してしまうと、かえってトラブルが悪化することがあります。
- ・インターネット上のトラブルは、関係者・使用端末・やりとり内容など多くの要素を調査しなければならず、解決が非常に困難です。
- ・場合によっては人権侵害や誤認逮捕、金銭的負担が発生することもあります。

【トラブルではなく「犯罪」になることも】

- ・SNS 上の誹謗中傷や写真のやりとりも、内容によっては「犯罪」にあたるケースがあります。
- ・年齢に関係なく、法律に違反すれば責任を問われる可能性があるということを、家庭でしっかり話し合っていただければと思います。

【スマホにも“チャイルドシート”を】

- ・子どもの送迎にチャイルドシートがあるように、スマートフォンにもフィルタリングやペアレンタルコントロールといった安全機能があります。

- ・ これらを設定することで、問題が起きたときに保護者が子どもを守りやすくなります。
- ・ 設定をしていなかった場合、保護者の管理責任が問われることもあります。

【お子さまの「時間」を守るために】

スマートフォンやゲーム機の使い方ひとつで、学生の大切な時間が失われることがあります。

お子さまの時間と心を守るため、保護者の皆さまのご協力をお願いいたします。

※学校や教員が SNS トラブルに関わることには限界があり、家庭でのサポートが重要です。

nitjapan.com